

重点項目（3 カ年計画の 2022 年～2024 年）

1. 心地よい暮らしを実現する
2. 経営基盤の安定
3. 職員の採用・育成・定着
4. 地域支援の再構築
5. 建物管理・保守(利用者が安全に暮らせるように維持する)

1.心地よい暮らしを実現し利用者満足度を上げる

- ・ 養護、特養を併設している特性を生かし、相互で参加ができる活動を再構築する。
- ・ 応援隊やご家族の協力を得て、楽しめる行事を開催し満足度を上げる。

2.事業の安定

①共通

- ・ 特養 95%・ショート 85%・養護 84%以上の稼働実績の目標を達成する。
- ・ ご利用者の喜びやできることに気づける視点を養い記録を充実させる。
- ・ 記録から課題抽出、ケアプランの作成、介護の実施と記録の流れを定着させる。

②特養

- ・ 体制を整備し LIFE 加算、看取り介護加算、口腔衛生等管理加算を取得する。
- ・ 多職種で連携し I C T ツール、福祉機器の活用に取り組む。
- ・ 多様なニーズに対応できる施設を目指し検討する。

③養護

- ・ 特徴を各自治体にアピールし相談しやすい関係性を築き新規入所者を増やす。
- ・ ご利用者の個別に合った役割を見つけ、活力のある生活を送れるよう支援する。
- ・ 自立支援ショート、ほっとステイ、緊急一時保護の受け入れを整備し周知する。

3. 職員の採用・育成・定着

- ・ 職務要件に根ざした人材育成を行い、各自のスキルアップを目指す。
- ・ 利用者を中心に各専門職がさらに連携を深め、職員のやりがいや育成定着を目指す。
- ・ ご利用者の権利擁護や人格尊重について研修などを通して周知を図る。
- ・ 事故防止対策の充実、認知症を理解する研修を行いスキルアップする。

4.地域支援の再構築

①地域交流スペースを利用した地域交流

- ・ 感染防止対策を踏まえ、昼食会の開催を増やし、地域の居場所を再構築する。
- ・ 介護予防事業や安心シニア塾等による情報発信の場として活動を充実させる。
- ・ 緑苑内の応援隊活動の場を広げ、地域住民と入居者の交流機会を増やす。
- ・ 包括支援センターのエリア変更について、情報収集し準備を進める。

5.建物管理・保守(利用者が安全に暮らせるように維持する)

- ・ 東館エレベーターの入れ替え（10 月）を円滑に進める。
- ・ 施設内の補修箇所や履歴が見える化し継続的な管理をしやすいとする。